

平成 23 年 9 月 13 日

中国上海でのジャパンパビリオン出展活動の実施状況について

日本木材輸出振興協会

当協会では、平成 23 年度輸出倍増リード事業（農林水産省委託事業）のうちジャパンパビリオン設置（中国：第 3 回上海国際木造エコ住宅博覧会）の主要活動として、8 月 17 日～20 日開催の前述博覧会にジャパンパビリオンを設置し、輸出に取り組む 12 企業・団体と連携して国産材の各種製品を出展するとともに、現地企業との商談、日本産木材の広報、アンケート調査、「2011 年日本木材・木造建築セミナー」の開催などを行いました。

ジャパンパビリオン（180㎡）の来場者数は 8,072 人ののぼり、会期中の商談件数は 506 件、うち商談成立・ほぼ確実な件数 16 件、商談継続件数 148 件（成約の可能性を含むもの）です。また、セミナー、パビリオンでのアンケート調査に参加した人数は、それぞれ 78 人、406 人以上でした。現在、出展活動や商談が輸出取引の成約につながるよう、各社とタイアップして引き続き取り組んでいるところです。



人気のジャパンパビリオン



出展物について意見を交わす日中専門家



マッチング型商談



セミナーでの皆川 林野庁長官の講演

上記活動の実施状況を記録した映像は、下記のウェブに掲載されているので、ご覧ください。

<http://cn.wood.info/jwea/?pageID=-3&ProjectID=jp1109130011>